

9月16日～30日の国内外外国為替市場動向

	為替市況	主要経済指標など	主要発言など	為替レート		
				ドル円	ユーロ円	24H
08/09/16 (火)	東京は日経平均が600円以上も下落するなどアジア株が全面安。円はドルを中心に買いが優勢。欧米はAIGの破綻懸念が足枷となりドルは弱含み。ただモルスタの決算が予想を上回ったことで持ち直し。	・9月の独ZEW景況感指数 41.1 ・8月の米CPIは 0.1%、コアCPIは 0.2%、7月の対米証券投資61億ドル、9月のNAHB住宅市場指数18 ・FOMCで金利据え置き決定、声明は「雇用市場はさらに悪化した」	・与謝野経財相「株安、円安は市場に任せることが正しい」 ・米CNBCが「AIGに公的資金注入」観測報道 ・関係筋「米国がAIGの公的管管理を選択肢として考慮」	104.21	148.44	24H 寄付 安値 高値 終値
08/09/17 (水)	東京はAIGに対するFRBの公的支援を好感しドルは続伸。ただ引けに掛けてはやや小緩む。欧米は米経済指標の悪化を受けてドルは再び下落。しかしSECの発表から株の下げ止まりが期待された。	・日銀が政策金利の据え置き決定 ・8月の英失業率2.8% ・9月BOE議事録「8対1で金利据え置き決定」 ・HBOSとロイズが合併 ・8月の米住宅着工件数89.5万戸	・FRB「NY連銀がAIGに最大850億ドルの有担保融資を実施」 ・ユーログループ議長「金融危機は一時的にも収束していない」 ・SEC「株式の空売り規制をすべての公開企業に適用」	106.12	150.37	24H 寄付 安値 高値 終値
08/09/18 (木)	東京は6中銀の協調流動性供給を好感し円は独歩安。また前日に続くSECの発表もドル買いを後押し。欧米は英国の株式売り規制と米財務省の不良債権処理機構設立建設報道からドルは底堅く推移。	・FRBやECB、日銀など6中銀が協調して資金供給実施を発表 ・9月のFF連銀製造業指数3.8、8月の米景気先行指数 0.5% ・米財務長官が整理信託会社のような不良債権処理機関設立計画示	・SEC「ヘッジファンドなどに株式のショートポジションの公表求めるよう検討」 ・シンガポール投資公社「モルスタから打診されれば出資検討」 ・英金融サービス機構「金融株で新たなショートを作ること一時的に禁止」	104.36	149.37	24H 寄付 安値 高値 終値
08/09/19 (金)	東京は米財務長官らが協議との報道から追加策への期待強くドルは続伸。ドル/円は107円台へ。欧米は相次ぐ金融不安対策を受けてマーケットには一応の安心感も。この日もドルの買い戻し優勢。	・米財務長官とFRB議長が信用危機への包括的な対応策を協議 ・9月の月例経済報告で基調判断は据え置き	・SEC委員長「緊急事態に対応するため数日中に追加措置発表」(その後、金融株の空売り一時禁止などを発表) ・米財務長官「必要な法案の来週中の可決を議会に求める」	105.90	151.48	24H 寄付 安値 高値 終値
08/09/22 (月)	東京は週末に新たな対策が特別聞かれなかったことでの失望などから円買い先行。ドルも含め独歩高。欧米は新味こそなかったものの、G7の緊急声明などもありドルにやや売りにくい雰囲気。底堅く推移。	・南アのメキ大統領辞任(20日) ・日銀決定会合要旨「米景気停滞が長期化する可能性がある」 ・FRBがGSとモルスタが銀行持ち株会社に移行することを認可	・仏経財相「金融安定化策にG7が電話会議で支持を表明する」 ・米財務省報道官「不良債権買取計画は週内に議会通過見込み」 ・G7声明「国際金融システム安定性確保のため、あらゆる行動の用意あり」	106.78	154.75	24H 寄付 安値 高値 終値
08/09/23 (火)	東京秋分の日で休場となるアジアタイムはレンジ内での揉み合い。明確な方向性はうかがえず。欧米は米金融安定化策が先送りされるとの懸念が強まりドルはやや冴えない。NYダウなども弱含み。	・9月の米リッチモンド連銀指数 18、7月の住宅価格指数 0.6%	・シムルビー米上院議員「米財務省案は一般国民のためにならず」 ・FRB議長「議会の行動が緊急に必要」 ・米財務長官「政府による不良債権の買い取り案は最善の方法」	105.47	156.12	24H 寄付 安値 高値 終値
08/09/24 (水)	東京は好悪材料が拮抗し動きにくい雰囲気。105円台を中心とした揉み合いに終始した。欧米は独経済指標の悪化でユーロ売り先行。また欧州利下げ観測も声高に聞かれユーロの弱材料に。	・FRBが豪、デンマーク、スウェーデン、ノルウェーと総合300億ドルの一時的なスワップ協定を締結 ・麻生新内閣発足 ・9月の独IFO景況指数92.9 ・8月米中古住宅販売件数491万戸	・一部報道「バークシャー・ハワーズがGSに50億ドル出資」 ・麻生首相「今年に入り明らかに不景気」 ・ネルフ独IFOエコノミスト「ECBの利下げ時期が到来」	105.58	155.05	24H 寄付 安値 高値 終値
08/09/25 (木)	東京は期待されたブッシュ演説に新味なく、失望に終わったとの見方からドル売り優勢。欧米は発表される米経済指標がごとく悪くドル買いにくい。ただドット発言などもあり終盤巻き戻す。	・8月の貿易収支 3240.05億ドル、1月以外の単月赤字は26年ぶり ・8月の米耐久財受注 4.5%、同新築住宅販売46万戸	・ブッシュ大統領「米国は深刻な金融危機にある」 ・ドット米上院銀行委員長「両党は金融安定化法案で原則合意」 ・シムルビー米上院議員「法案の更なる修正を求める」	106.11	155.47	24H 寄付 安値 高値 終値
08/09/26 (金)	東京は前日引け際に報じられたシムルビー発言を受けた法案成立が遅れるとの見方が台頭しドルは弱含み。欧米は前日NYと同様に米経済指標悪化でドルが売られたものの法案成立の楽観論を受けてドル急反発。	・8月の消費者物価総合指数2.1% ・第2四半期の米GDP確報値2.8%、同個人消費1.2%、同コアPCE価格指数2.2%、9月ミシガン大消費者信頼感指数確報値70.3	・中川財務金融相「為替の急速な乱高下はプラスにならない」 ・米大統領声明「議会は相違を克服し法案を可決する」	106.03	155.47	24H 寄付 安値 高値 終値
08/09/29 (月)	東京はロッキットのユーロ売りが目立つ。独系金融機関に対する公的資金などが嫌気されていた。欧米はまさかの安定化法案否決を受けてドルが急落。NYダウも777ドルの大幅安となりドル売りに寄与。	・英B&B国有化(27日) ・独フォルクスバンクに協調救済、ヒヨリアルエステートにも政府支援決定 ・シティがコロンビアの銀行部門買収へ ・8月の米個人所得0.5%、同支出0.0%、同PCE4.5%	・一部報道「金融安定化法案、公的資金分割投入で合意」(28日) ・FRBと主要9カ国中銀が通貨スワップ協定枠拡大 ・米下院で金融安定化法案を否決	106.35	154.62	24H 寄付 安値 高値 終値
08/09/30 (火)	東京は前日の流れを継ぎ103円半ばまで下落するも、そこから調整的な買戻しが入り、行って来い。欧米は米経済指標が予想を上回ったほか米株が400ドルを越す反発となったことでドルは大幅続伸へ。	・8月の完全失業率4.2%、同鉱工業生産 3.5% ・第2四半期の英GDP確報値0.0% ・7月のケース・シャー住宅価格 16.4%、9月のシカゴ購買部指数56.7、同消費者信頼感指数59.8	・ブッシュ大統領「われわれは緊急事態の中にいる」 ・バラモECB理事「市場は先週のG7声明を思い起こすべき」 ・SECが会計基準の緩和を発表	104.19	149.72	24H 寄付 安値 高値 終値

* 製作・著作：「FXニュースレター」

URL: <http://www.fx-newsletter.com/>